

平面図 S=1:500
徳島県 阿南市 橘町 汐谷山

項目	単位	数値
全長	m	1,000.00
幅員	m	10.00
断面	m	1.00
勾配	‰	0.00

管理道路 基線3(設計)

IP	IP間方位角	IA	R	TL	SL	CL	IP間距離	X座標	Y座標
3IP 1	321-32-44	19-48-04	10.000	1.745	0.151	3.456	10.864	97721.566	105813.258
3IP 2	324-36-42	16-34-07	10.000	1.456	0.105	2.892	7.390	97737.349	105804.080
3IP 3	329-39-31	4-02-55	10.000	1.787	0.031	1.532	8.892	97742.019	105800.133
3IP 4	343-58-01	15-16-30	10.000	1.341	0.090	2.666	21.081	97760.084	105789.788
3IP 5	316-09-43	27-46-18	10.000	2.472	0.301	4.847	12.809	97772.393	105786.223
3IP 6	335-40-49	18-31-07	10.000	1.720	0.147	2.407	11.334	97780.568	105778.315
3IP 7	312-13-20	23-27-29	10.000	2.076	0.213	4.094	19.758	97788.573	105770.236
3IP 8	358-45-28	46-32-08	25.000	10.750	2.213	20.305	12.899	97807.241	105760.684
3IP							14.761	97821.989	105760.364

基線1

IP	IP間方位角	IA	R	TL	SL	CL	IP間距離	X座標	Y座標
1IP 1	324-59-28						6.700	97816.623	105807.582
1IP 2	281-51-56	43-07-32	20.000	5.559	0.758	10.844	23.442	97824.568	105802.017
1IP 3	333-12-48	20-18-54					46.121	97828.388	105779.018
1IP 4	21-57-47	48-44-59					34.697	97848.518	105701.025
1IP								97930.091	105714.002

基線1(中間点座標)

IP	X座標	Y座標
1MO 2	97834.245	105773.854
1MO 2+5.000	97837.650	105770.194
1MO 2+9.000	97840.784	105766.626
1MO 2+10.000	97841.058	105766.533
1MO 2+11.200	97841.873	105765.654
1MO 2+14.200	97843.917	105763.658
1MO 2+16.600	97845.532	105761.701
1MO 3	97847.888	105759.212

点名	X座標	Y座標	備考
F-1	97844.347	105871.208	3級基準点
F-2	97693.447	105924.718	"
F-3	97665.882	105876.168	4級基準点
F-4	97727.213	105825.262	"
F-5	97752.030	105835.868	"
F-6	97806.232	105853.855	"
F-7	97800.561	105810.969	"
F-8	97817.668	105803.913	"
F-9	97829.105	105782.106	"
F-10	97843.177	105758.320	"
F-11	97850.863	105747.364	"
F-12	97873.165	105742.833	"
F-13	97883.758	105732.582	"
F-14	97807.343	105718.400	"
F-15	97928.244	105706.648	"
F-16	97945.977	105702.208	"
F-17	97882.850	105710.409	"
F-18	98010.419	105720.141	"
F-19	98037.612	105723.524	"
F-20	98042.388	105746.427	"
F-21	98049.664	105782.496	"
F-22	98024.915	105787.465	"
F-23	97993.549	105783.119	"
F-24	97867.603	105798.057	"
F-25	97931.780	105804.108	"
F-26	97892.794	105814.793	"
F-27	97870.459	105824.123	"
F-28	97848.352	105820.487	"
F-29	97830.655	105808.354	"
F-30	97707.539	105798.352	"
F-31	97729.985	105786.265	"
F-32	97787.472	105785.890	"
F-33	97779.044	105810.335	"
F-34	97758.281	105822.028	"
F-35	97748.586	105814.783	"
F-36	97744.737	105843.207	"
F-37	97773.630	105832.486	"
F-38	97784.481	105846.685	"
F-39	97801.711	105838.588	"
F-40	97827.990	105833.365	"
F-41	97718.394	105809.910	"
F-42	97814.138	105777.599	"
F-43	97793.667	105774.155	"
F-44	97764.514	105791.929	"
F-45	97836.643	105831.468	"
F-46	97830.679	105844.689	"

堰堤本体 V=590m3

◇凡例◇
管理用道路
計画えん堤
計画堆砂高
H.W.L.
余裕高

当初設計図面

工事名	R8阿土 汐谷 阿南・橘 砂防工事(企育)
路線名等	汐谷
工事箇所	阿南市橘町汐谷山
図面名	計画平面図
縮尺	S=1:500 図面番号 1 / 10
会社名	
事業者名	徳島県阿南県土整務所

V=1 : 250
H=1 : 500

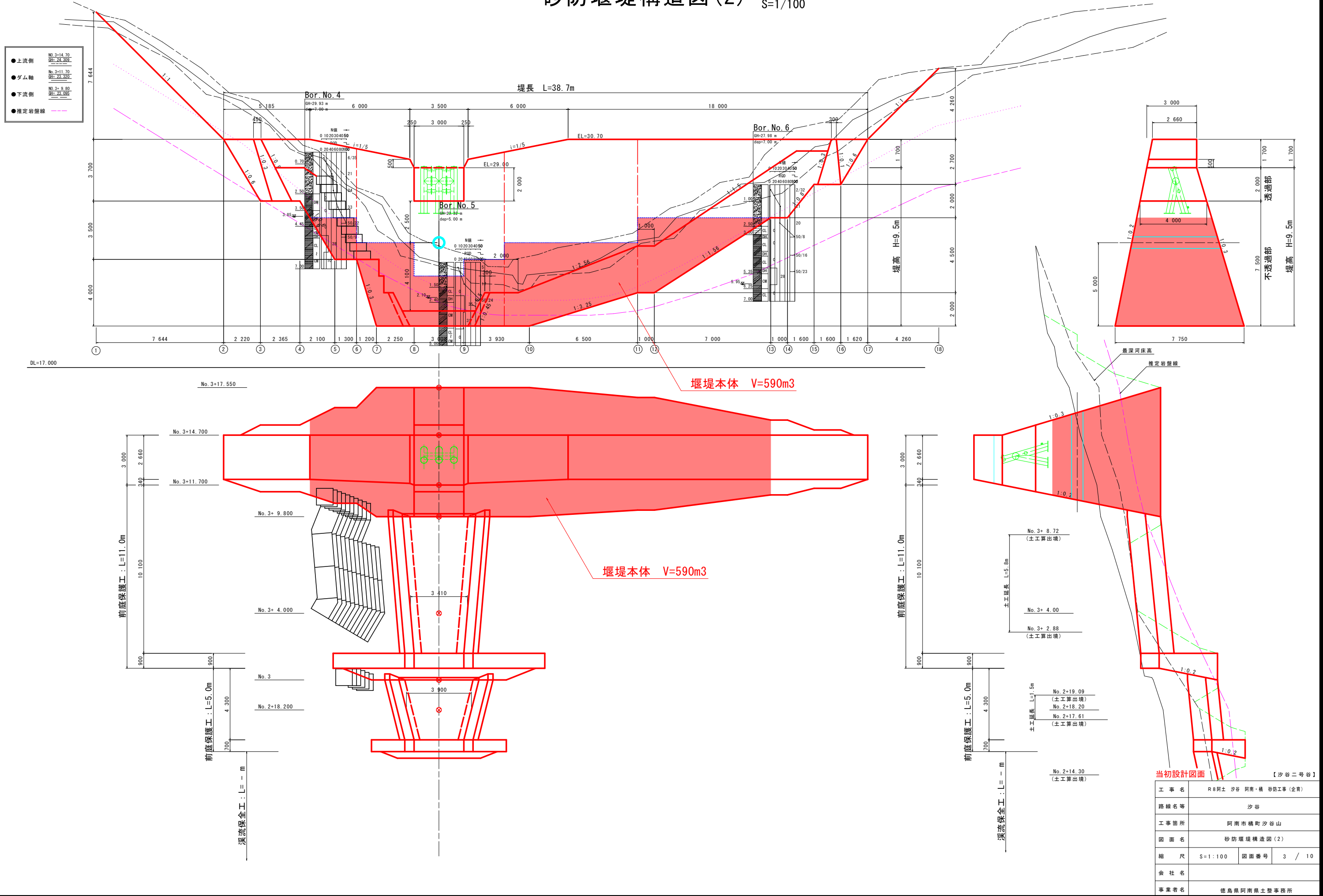


当初設計図面

工 事 名	R8阿土 汐谷 阿南・橋 砂防工事 (企青)		
路線名等	汐 谷		
工事箇所	阿南市橋町汐谷山		
図面名	縦 断 図 (2)		
縮 尺	V=1:250 H=1:500	図面番号	2 / 10
会 社 名			
事業者名	徳島県阿南県土整事務所		

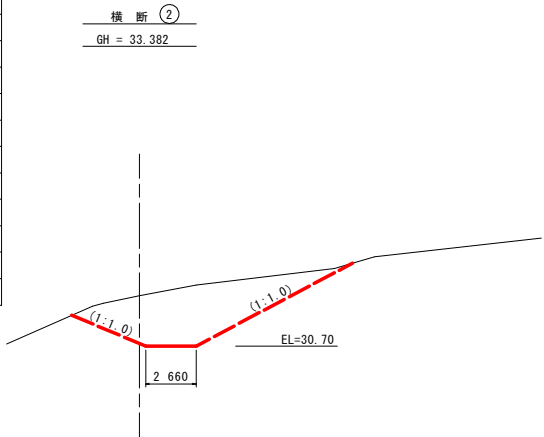
正面図

砂防堰堤構造図(2) S=1/100

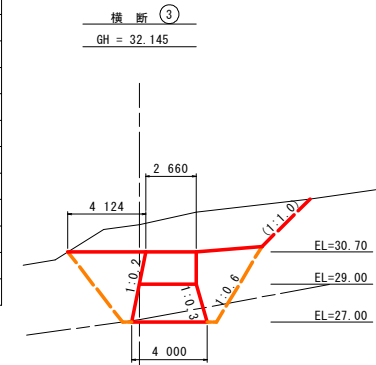




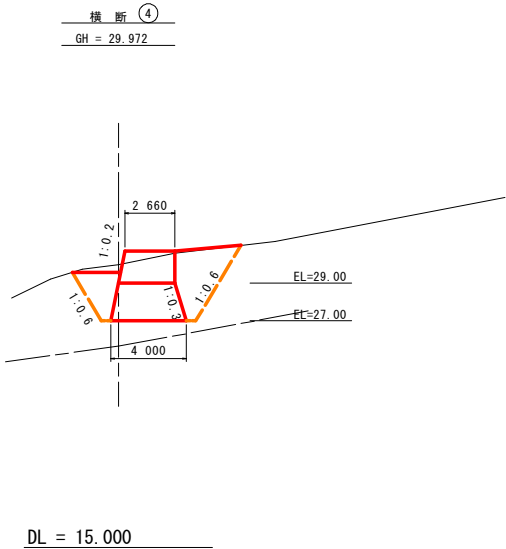
名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削	土砂 (H ≧ 5.0m)	26.6
掘 削	土砂 (H < 5.0m)	
掘 削	軟岩Ⅰ (H ≧ 5.0m)	
掘 削	軟岩Ⅰ (H < 5.0m)	
床 堀	土 砂	
床 堀	軟 岩Ⅰ	
埋 戻	B	
埋 戻	C	
基面整正		
岩盤清掃		
取壊し	無筋コンクリート	



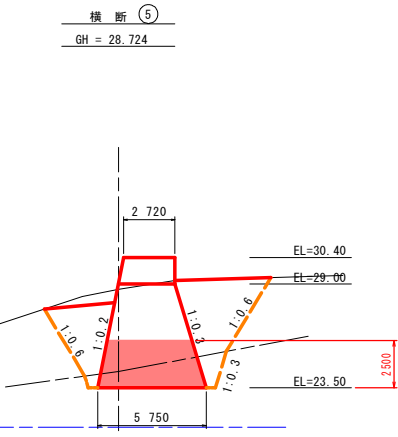
名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削	土砂 (H ≧ 5.0m)	45.4
掘 削	土砂 (H < 5.0m)	
掘 削	軟岩Ⅰ (H ≧ 5.0m)	
掘 削	軟岩Ⅰ (H < 5.0m)	
床 堀	土 砂	
床 堀	軟 岩Ⅰ	
埋 戻	B	
埋 戻	C	16.6
基面整正		
岩盤清掃		
取壊し	無筋コンクリート	



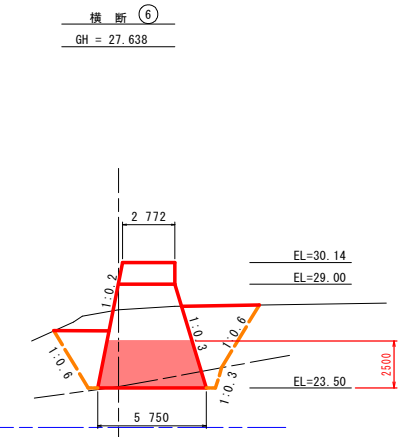
名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削	土砂 (H ≧ 5.0m)	23.2
掘 削	土砂 (H < 5.0m)	
掘 削	軟岩Ⅰ (H ≧ 5.0m)	
掘 削	軟岩Ⅰ (H < 5.0m)	
床 堀	土 砂	
床 堀	軟 岩Ⅰ	
埋 戻	B	
埋 戻	C	12.0
基面整正		
岩盤清掃		
取壊し	無筋コンクリート	



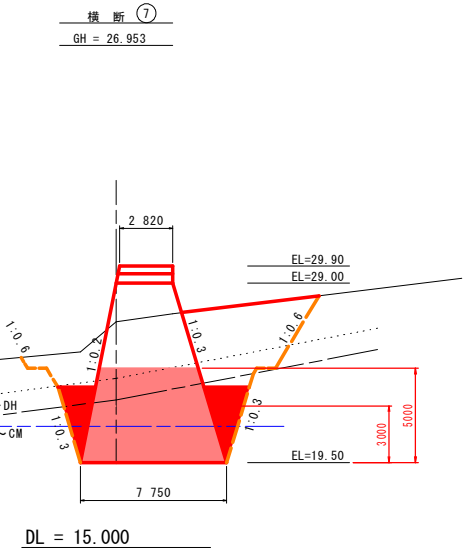
名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削	土砂 (H ≧ 5.0m)	26.2
掘 削	土砂 (H < 5.0m)	14.5
掘 削	軟岩Ⅰ (H ≧ 5.0m)	
掘 削	軟岩Ⅰ (H < 5.0m)	8.7
床 堀	土 砂	
床 堀	軟 岩Ⅰ	
埋 戻	B	15.0
埋 戻	C	8.9
基面整正		
岩盤清掃		5.75
取壊し	無筋コンクリート	



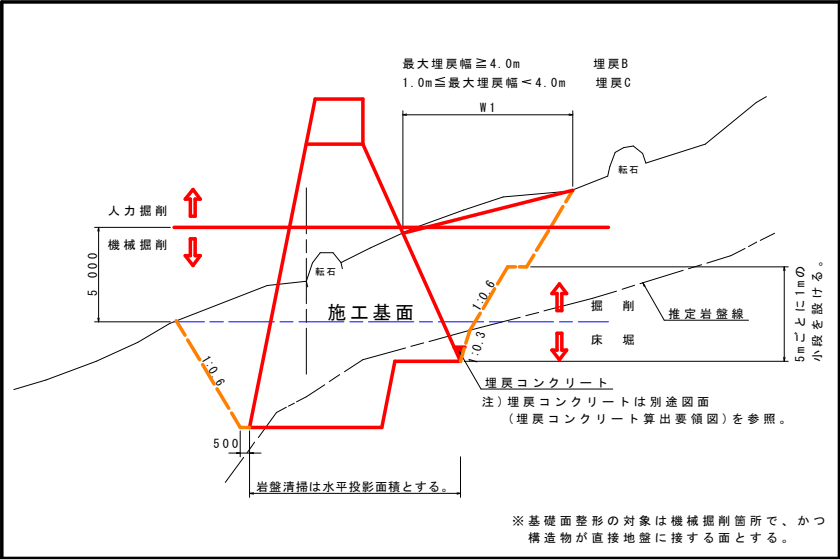
名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削	土砂 (H ≧ 5.0m)	12.4
掘 削	土砂 (H < 5.0m)	21.1
掘 削	軟岩Ⅰ (H ≧ 5.0m)	
掘 削	軟岩Ⅰ (H < 5.0m)	2.9
床 堀	土 砂	
床 堀	軟 岩Ⅰ	
埋 戻	B	9.5
埋 戻	C	5.2
基面整正		
岩盤清掃		5.75
取壊し	無筋コンクリート	



名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削	土砂 (H ≧ 5.0m)	12.5
掘 削	土砂 (H < 5.0m)	35.5
掘 削	軟岩Ⅰ (H ≧ 5.0m)	
掘 削	軟岩Ⅰ (H < 5.0m)	17.3
床 堀	土 砂	
床 堀	軟 岩Ⅰ	16.0
埋 戻	B	21.6
埋 戻	C	
基面整正		
岩盤清掃		7.75
取壊し	無筋コンクリート	



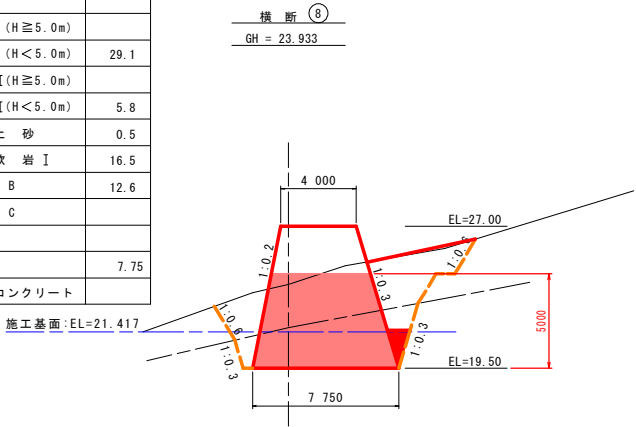
土工算出要領図（一般図）



当初設計図面

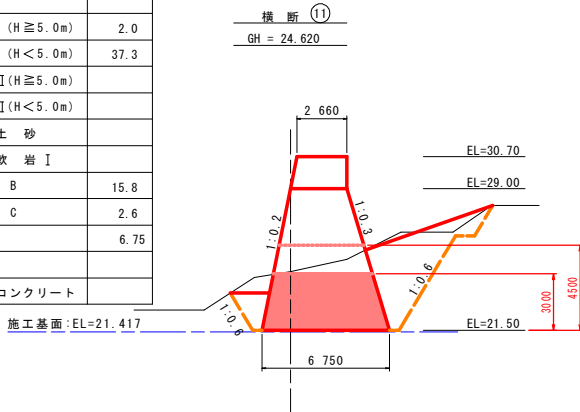
工 事 名	R8阿土 汐谷 阿南・橋 砂防工事 (企育)
路線名等	汐 谷
工事箇所	阿南市橋町汐谷山
図 面 名	土工算出用横断面図
縮 尺	S=1:200
図面番号	4 / 10
会 社 名	
事業者名	徳島県阿南県土整事務所

名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削 土砂 (H≧5.0m)		
掘 削 土砂 (H<5.0m)		29.1
掘 削 軟岩Ⅰ(H≧5.0m)		
掘 削 軟岩Ⅰ(H<5.0m)		5.8
床 堀 土 砂		0.5
床 堀 軟 岩Ⅰ		16.5
埋 戻 B		12.6
埋 戻 C		
基面整正		
岩盤清掃		7.75
取壊し	無筋コンクリート	



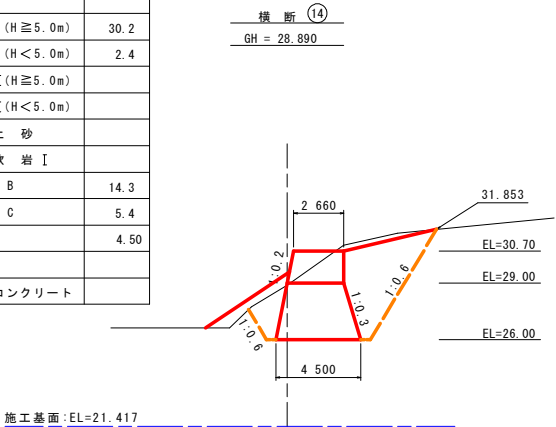
DL = 10.000

名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削 土砂 (H≧5.0m)		2.0
掘 削 土砂 (H<5.0m)		37.3
掘 削 軟岩Ⅰ(H≧5.0m)		
掘 削 軟岩Ⅰ(H<5.0m)		
床 堀 土 砂		
床 堀 軟 岩Ⅰ		
埋 戻 B		15.8
埋 戻 C		2.6
基面整正		6.75
岩盤清掃		
取壊し	無筋コンクリート	



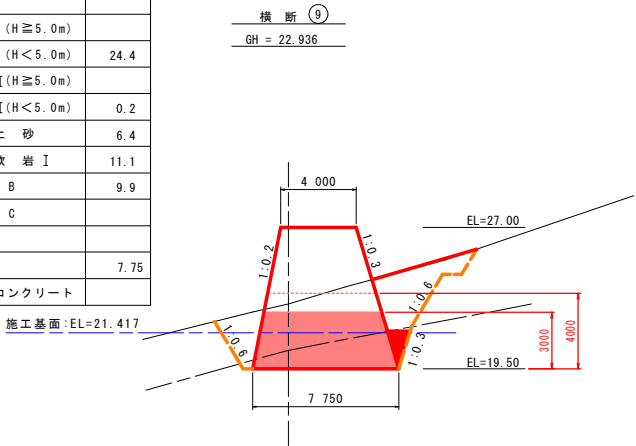
DL = 10.000

名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削 土砂 (H≧5.0m)		30.2
掘 削 土砂 (H<5.0m)		2.4
掘 削 軟岩Ⅰ(H≧5.0m)		
掘 削 軟岩Ⅰ(H<5.0m)		
床 堀 土 砂		
床 堀 軟 岩Ⅰ		
埋 戻 B		14.3
埋 戻 C		5.4
基面整正		4.50
岩盤清掃		
取壊し	無筋コンクリート	



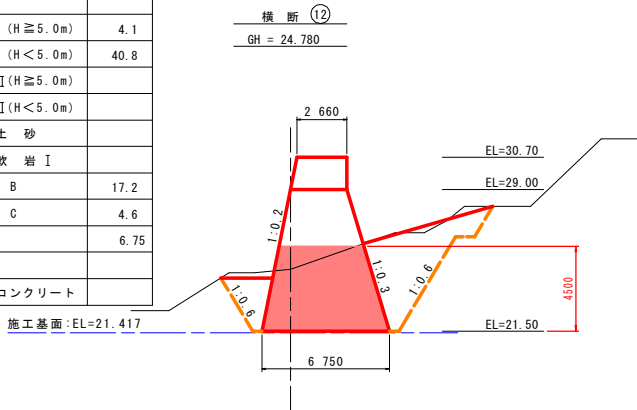
DL = 15.000

名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削 土砂 (H≧5.0m)		
掘 削 土砂 (H<5.0m)		24.4
掘 削 軟岩Ⅰ(H≧5.0m)		
掘 削 軟岩Ⅰ(H<5.0m)		0.2
床 堀 土 砂		6.4
床 堀 軟 岩Ⅰ		11.1
埋 戻 B		9.9
埋 戻 C		
基面整正		
岩盤清掃		7.75
取壊し	無筋コンクリート	



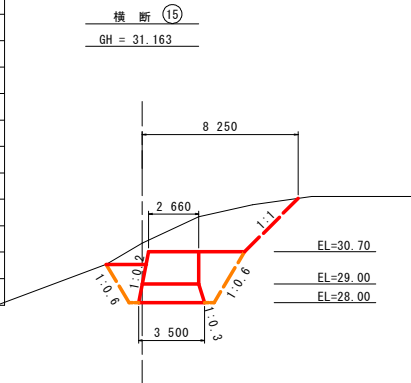
DL = 10.000

名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削 土砂 (H≧5.0m)		4.1
掘 削 土砂 (H<5.0m)		40.8
掘 削 軟岩Ⅰ(H≧5.0m)		
掘 削 軟岩Ⅰ(H<5.0m)		
床 堀 土 砂		
床 堀 軟 岩Ⅰ		
埋 戻 B		17.2
埋 戻 C		4.6
基面整正		6.75
岩盤清掃		
取壊し	無筋コンクリート	



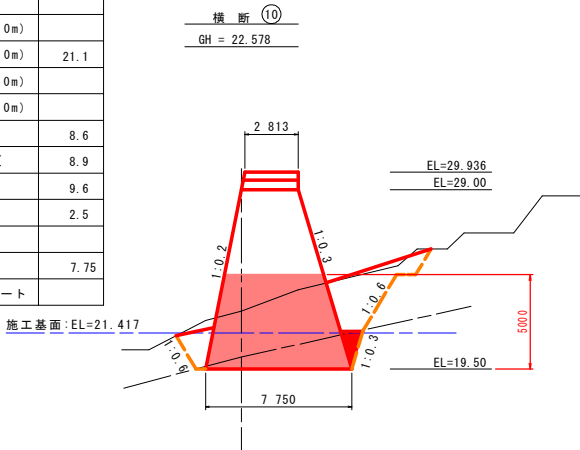
DL = 10.000

名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削 土砂 (H≧5.0m)		28.3
掘 削 土砂 (H<5.0m)		
掘 削 軟岩Ⅰ(H≧5.0m)		
掘 削 軟岩Ⅰ(H<5.0m)		
床 堀 土 砂		
床 堀 軟 岩Ⅰ		
埋 戻 B		
埋 戻 C		6.9
基面整正		
岩盤清掃		
取壊し	無筋コンクリート	



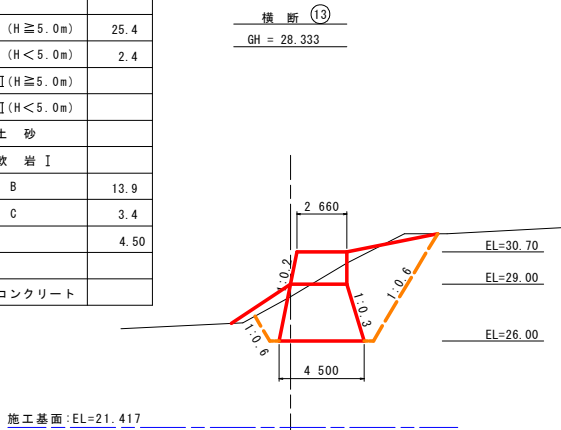
DL = 15.000

名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削 土砂 (H≧5.0m)		
掘 削 土砂 (H<5.0m)		21.1
掘 削 軟岩Ⅰ(H≧5.0m)		
掘 削 軟岩Ⅰ(H<5.0m)		
床 堀 土 砂		8.6
床 堀 軟 岩Ⅰ		8.9
埋 戻 B		9.6
埋 戻 C		2.5
基面整正		
岩盤清掃		7.75
取壊し	無筋コンクリート	



DL = 10.000

名 称	規 格	数 量
盛 土		
掘 削 土砂 (H≧5.0m)		25.4
掘 削 土砂 (H<5.0m)		2.4
掘 削 軟岩Ⅰ(H≧5.0m)		
掘 削 軟岩Ⅰ(H<5.0m)		
床 堀 土 砂		
床 堀 軟 岩Ⅰ		
埋 戻 B		13.9
埋 戻 C		3.4
基面整正		4.50
岩盤清掃		
取壊し	無筋コンクリート	

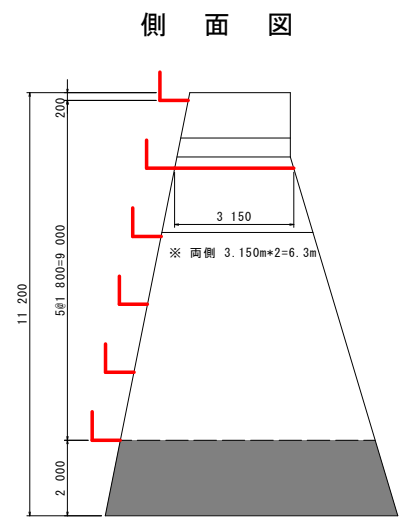
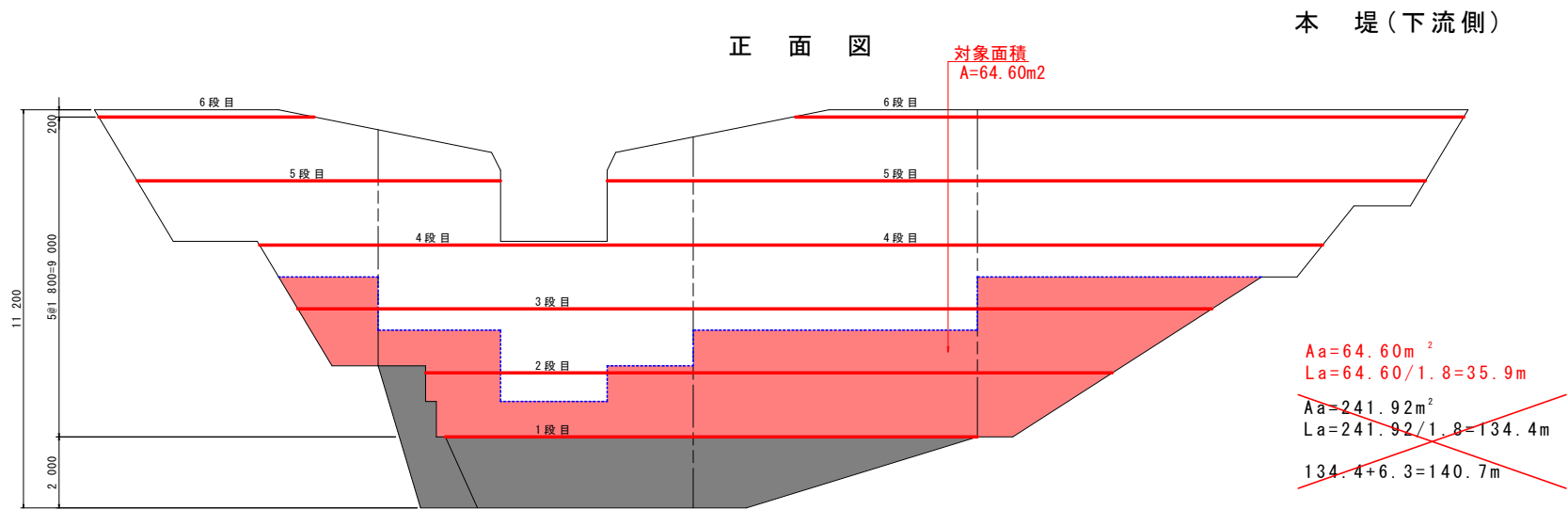


DL = 15.000

当初設計図面 【汐谷二号谷（本堤）】

工 事 名	R8阿土 汐谷 阿南・橋 砂防工事（企育）		
路線名等	汐 谷		
工事箇所	阿南市橋町汐谷山		
図 面 名	土工算出用横断面図		
縮 尺	S=1:200	図面番号	5 / 10
会 社 名			
事業者名	徳島県阿南県土整務所		

足場工算出要領図 S=1/100



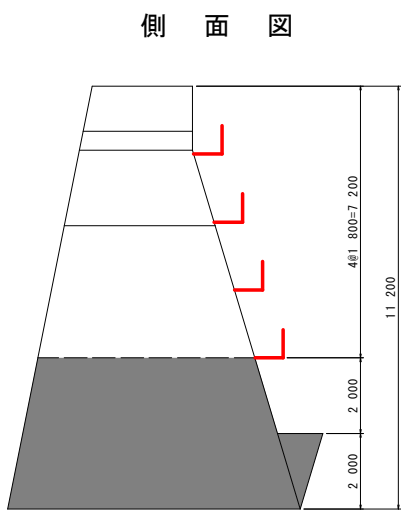
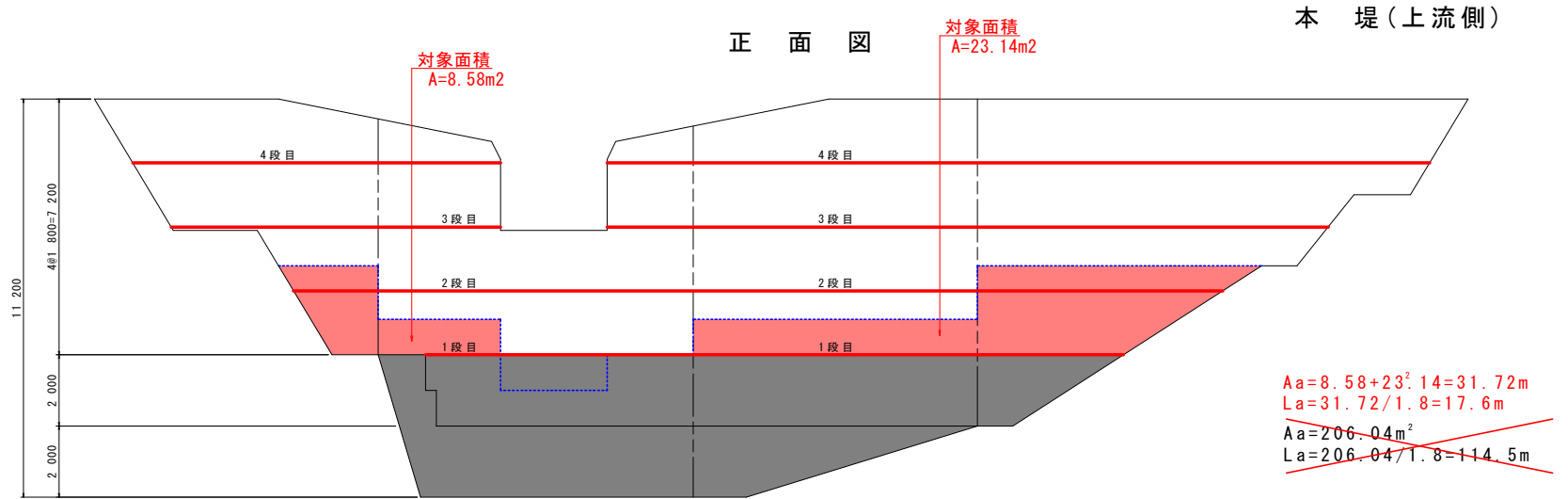
足場(キャットウォーク)延長

足場延長の算出方法は、足場の高さ方向の標準設置間隔を1.8mとして段数を決定し算出する。

足場延長算出式 $La = Aa / 1.8m$

Aa:足場対象面積(m²) ※垂直投影面積とし、足場の不要となる基礎地盤より2.0m分は
控除するものとする。

- 注意事項
- 間詰がない場合は基礎から2mのところより計上する。
(足場の不要となる基礎地盤とは、平坦(i=1/10以内)が5.0m以上の箇所をいう)
 - ハッチング部分は計上しない。
 - 1ブロック(目地の間)内では段差はつけない。
 - ジョイント部は各年度の最終リフト差が2mを越える場合に計上する。



本堤 : 35.9 + 17.6 = 53.5 m

本堤 : 140.7 + 114.5 = 255.2 m

第1垂直壁 : 18.7 + 8.6 = 27.3 m

第2垂直壁 : 4.0 + 4.0 = 8.0 m

当初設計図面

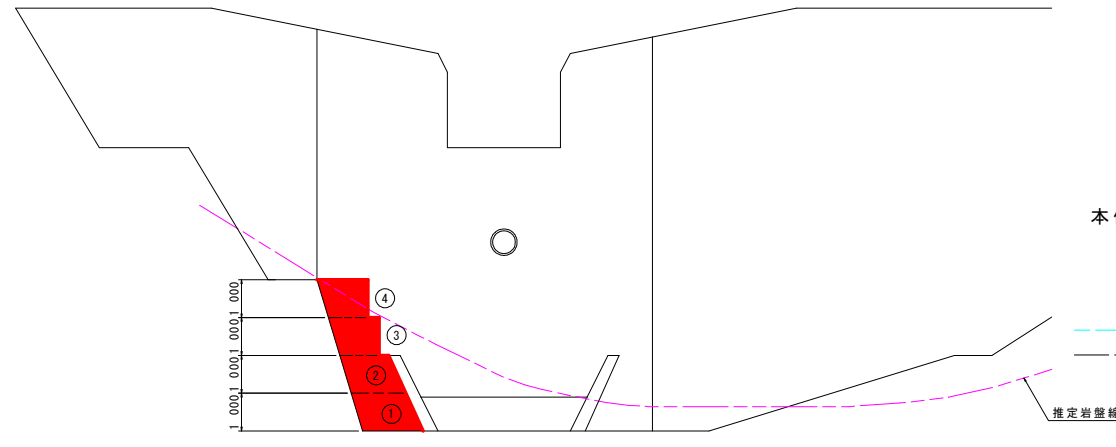
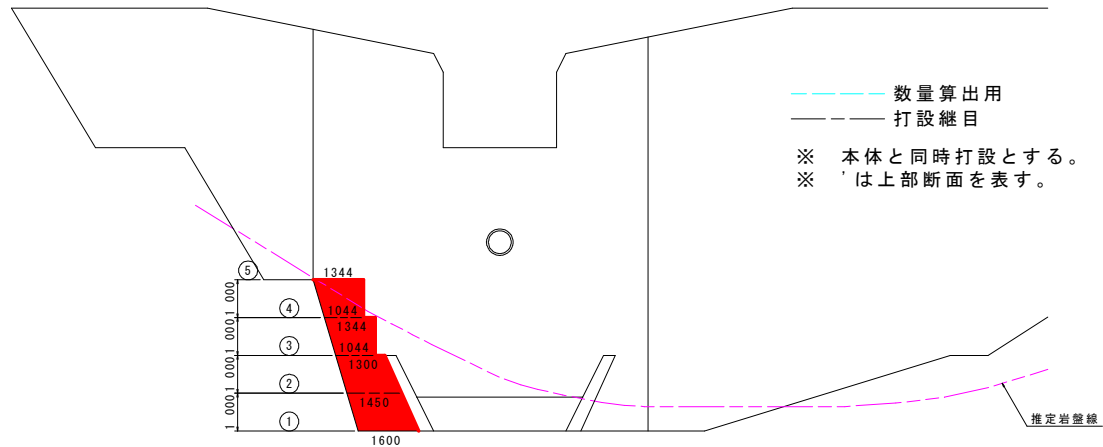
【汐谷二号谷】

工事名	R8阿土 汐谷 阿南・橋 砂防工事(企画)		
路線名等	汐谷		
工事箇所	阿南市橋町汐谷山		
図面名	足場工算出要領図		
縮尺	S=1:100	図面番号	6 / 10
会社名			
事業者名	徳島県阿南県土整事務所		

(コンクリート)
本堤(下流側)

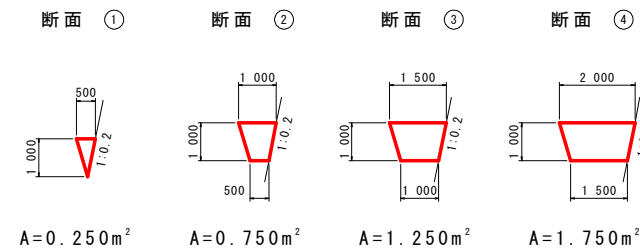
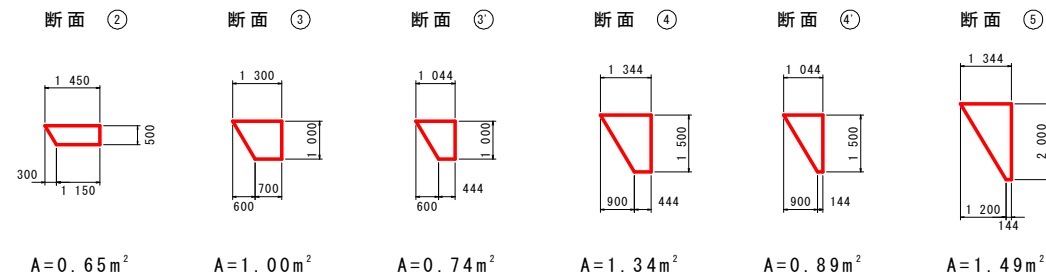
埋戻コンクリート算出要領図 S=1/100

(型 枠)
本堤(下流側)



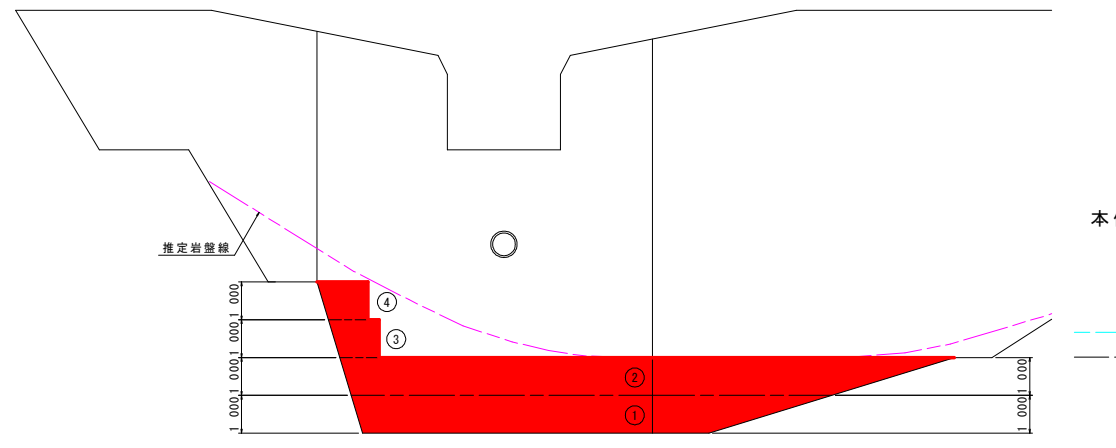
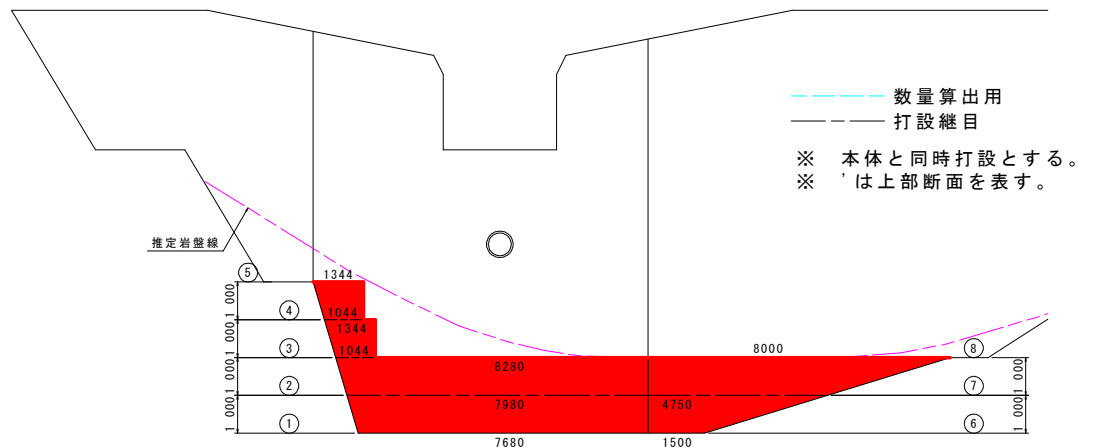
型枠面積集計表(下流)			
断面	斜 比	垂直投影面積(m) ²	型 枠(m) ²
①	1:1.097	0.250	0.274
②	1:1.097	0.750	0.823
③	1:1.000	1.250	1.250
④	1:1.000	1.750	1.750
合 計			4.097

本体工型枠控除面積
 $\sqrt{(1^2+0.2^2)} \times 5.29 = 5.39 \text{ m}^2$



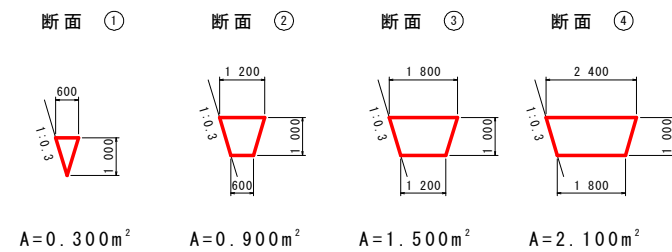
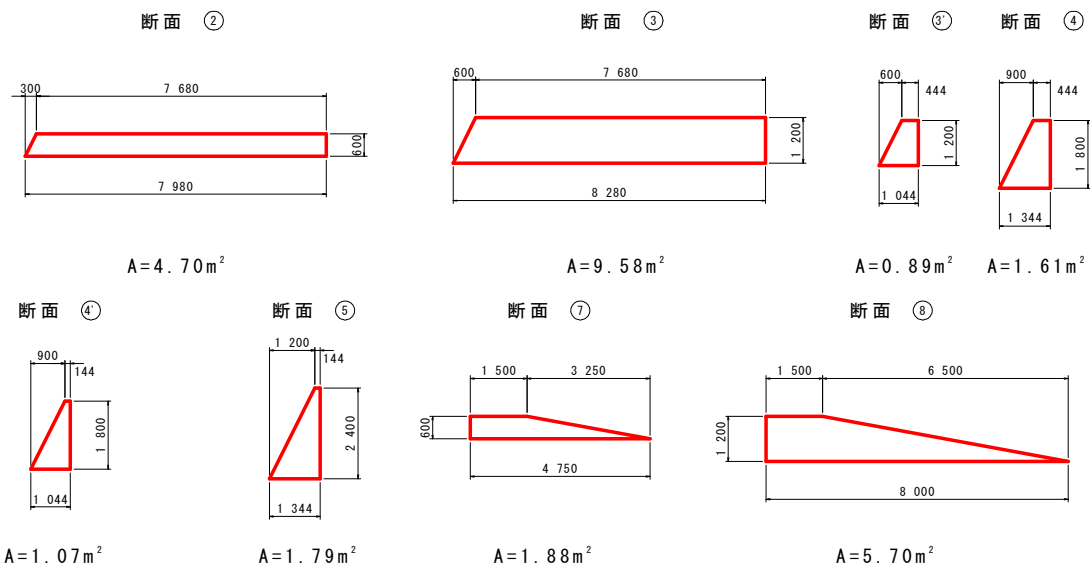
本堤(上流側)

本堤(上流側)



型枠面積集計表(上流)			
断面	斜 比	垂直投影面積(m) ²	型 枠(m) ²
①	1:1.000	0.300	0.300
②	1:1.000	0.900	0.900
③	1:1.000	1.500	1.500
④	1:1.000	2.100	2.100
合 計			4.800

本体工型枠控除面積
 $\sqrt{(1^2+0.3^2)} \times 27.85 = 29.08 \text{ m}^2$



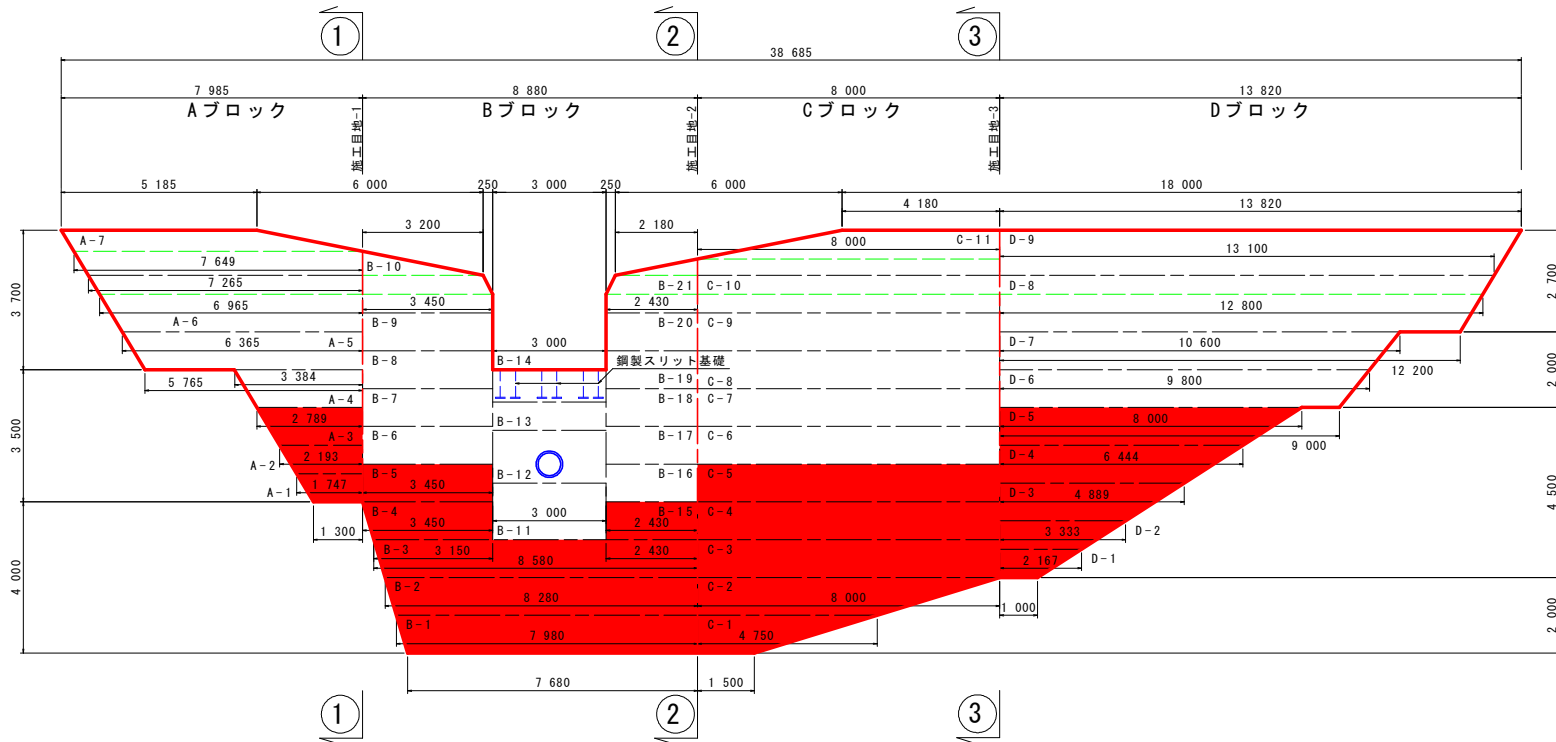
当初設計図面 【沙谷二号谷】

工 事 名	R8阿土 沙谷 阿南・橋 砂防工事(企育)		
路線名等	沙 谷		
工事箇所	阿南市橋町沙谷山		
図 面 名	埋戻コンクリート算出要領図		
縮 尺	S=1:100	図面番号	7 / 10
会 社 名			
事業者名	徳島県阿南県土整務所		

コンクリート打設参考図

S=1/100

＜本堤＞

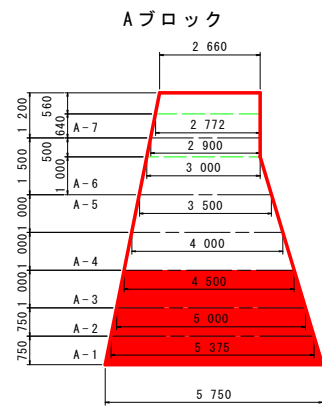


堤体施工に関する留意事項

- リフト高
1) リフトの打設高さは0.75～2.0m を標準とする。
2) 岩盤上及びやむを得ず長い日数にわたって打止めておいたコンクリートに打継ぐときは0.75～1.0m のリフトで数リフト打つのがよい。
3) 旧コンクリートの材令が0.75m 以上1.0m 未満のリフトの場合は3日(中2日)、1.0m 以上1.5m 未満のリフトの場合は4日(中4日)1.5m以上2.0m以下のリフトの場合は5日(中4日)に達した後に新コンクリートを打継がなければならない。
4) 隣接ブロックの打設高低差は、上下流方向で4リフト、横方向8リフト以下とする。
- 打設計画
1) 施工に先立ち全体の打設計画を立て、日々打設のブロック割を決定し、打設する。
2) ブロック打設の場合は硬化熱の発散を考慮し、隣接ブロックの打込み順序を決める。
3) コンクリート打込み前にあらかじめ基礎岩盤面の浮石、堆積物、油及び岩片等を除去した上で、圧力水等により清掃し、溜水、砂等を除去しなければならない。
4) コンクリートを打込む基礎岩盤及び水平打継目のコンクリートについては、あらかじめ吸水させ、湿潤状態にした上で、モルタルを塗り込むように敷均さなければならない。
5) モルタルの配合は本体コンクリートの品質を損なうものであってはならない。また、敷き込むモルタルの厚さは平均厚で、岩盤では2cm 程度、水平打継目では1.5cm程度とするものとする。
6) 水平打継目の処理については、圧力水等により、レイタンス、雑物を取り除くとともに清掃しなければならない。
7) リフトを数層に分けて打込むときには、締固めた後の1 層の厚さが、40～50cm 以下を標準となるように打込まなければならない。
8) コンクリートの養生を散水等により行わなければならない。コンクリートの養生方法は、外気温、配合、構造物の大きさを考慮して適切に行わなければならない。
9) 水通し部は、なるべく計画洪水量を流過させる断面を確保できる打設計画とする。
10) 水通し部と前庭部の打設計画は、水叩工を施工する前に水通し部の打設高を高くしてはならない。また側壁を打設完了した場合、本堤水通し幅は側壁幅以下とする。
11) 前庭部側壁の打継は水叩上面と同一高さで打継いでではない。
12) コンクリートの打込みはコンクリートバケットの使用を標準とし、コンクリート打込み用バケットを、その下端が打込み面上1m 以下に達するまで降ろし、打込み箇所のできるだけ近くに、コンクリートを排出しなければならない。
- 新旧年度の打継
1) 新旧年度打継の水平面は硬化遅延剤、垂直面はチッピング処理を講じる。チッピングの厚さは0.5～1.0cm 程度とする。
2) 硬化遅延剤の施工方法はコンクリート打設後、ブリージング水を除去してから液体を散布し、約8～24 時間後(一般に12～14 時間)、水を噴きかけながら硬いブラシでこすり、凝結遅延しているモルタル部分を完全に洗い出し骨材を露出させる。

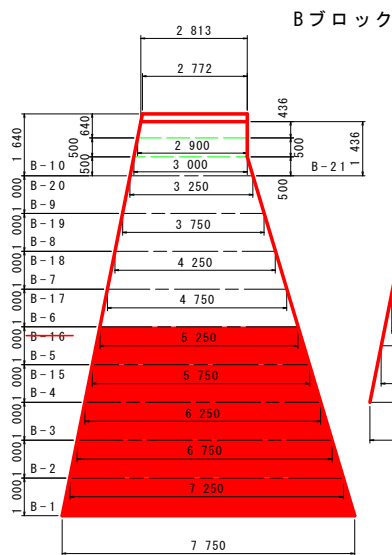
※ 徳島県 砂防技術指針(案) 平成29年4月 P.VIII-13

打設順序図



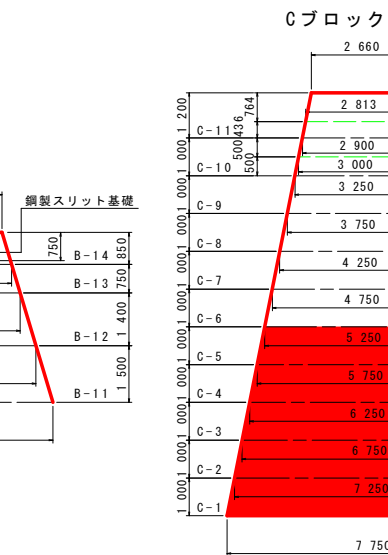
Aブロック打設計画

打設順序	ブロック番号	コンクリート設計数量	果計
9	A-1	6.35	6.35
13	A-2	7.65	14.00
19	A-3	11.81	25.81
24	A-4	13.09	38.90
29	A-5	22.72	61.62
34	A-6	32.13	93.75
40	A-7	23.30	117.05
	小計		117.05
	総計		117.05



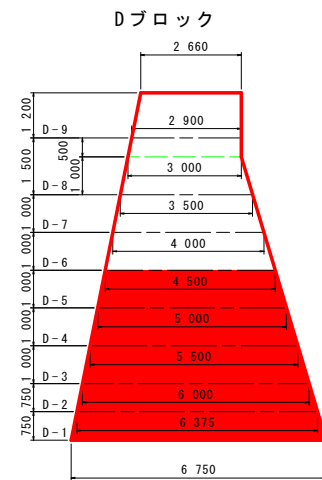
Bブロック打設計画

打設順序	ブロック番号	コンクリート設計数量	果計
1	B-1	58.71	61.39 (2.68)
6	B-2	56.90	126.26 (7.97)
10	B-3	54.78	183.33 (2.29)
12	B-4	19.79	205.74 (2.62)
15	B-5	18.98	224.72
22	B-6	17.25	241.97
31	B-7	15.53	257.50
36	B-8	13.80	271.30
42	B-9	12.08	283.38
46	B-10	13.23	296.61
27	B-11	26.44	323.05
38	B-12	21.63	344.68
44	B-13	10.38	355.06



Cブロック打設計画

打設順序	ブロック番号	コンクリート設計数量	果計
48	B-14	10.74	365.79
17	B-15	14.58	380.37
21	B-16	13.37	393.74
26	B-17	12.15	405.89
32	B-18	10.94	416.83
37	B-19	9.72	426.55
43	B-20	8.51	435.06
47	B-21	8.56	443.62
	小計		443.62
	総計		441.58

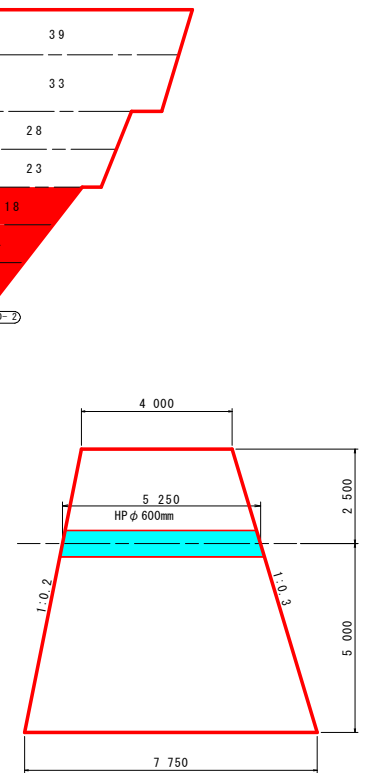


Dブロック打設計画

打設順序	ブロック番号	コンクリート設計数量	果計
2	C-1	23.30	24.24 (0.94)
4	C-2	44.49	72.52 (3.79)
8	C-3	52.00	124.52
11	C-4	48.00	172.52
16	C-5	44.00	216.52
20	C-6	40.00	256.52
25	C-7	36.00	292.52
30	C-8	32.00	324.52
35	C-9	28.00	352.52
41	C-10	24.30	376.82
45	C-11	22.73	399.55
	小計		399.55
	総計		399.55

打設順序	ブロック番号	コンクリート設計数量	果計
3	D-1	7.77	7.77
5	D-2	12.73	20.50
7	D-3	23.57	44.07
14	D-4	29.68	73.75
18	D-5	34.24	107.99
23	D-6	39.92	147.91
28	D-7	38.22	186.13
33	D-8	59.70	245.83
39	D-9	44.89	290.72
	小計		290.72
	総計		290.72

※鋼製スリット基礎部の構造に関しては、別途
据付用アンカーボルト設置図を参照すること。



水抜き管(φ600) L = 5.3 m

当初設計図面

【汐谷二号谷】

工事名	R8阿土 汐谷 阿南・橋 砂防工事(企青)
路線名等	汐谷
工事箇所	阿南市橋町汐谷山
図面名	コンクリート打設参考図
縮尺	S=1:100 図面番号 8 / 10
会社名	
事業者名	徳島県阿南県土整務所

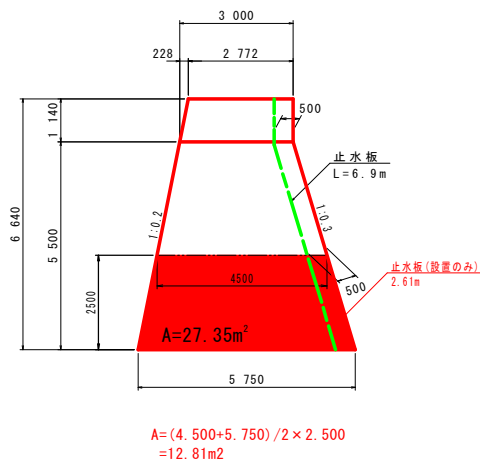
コンクリート打設参考図

S=1/100

＜本堤＞

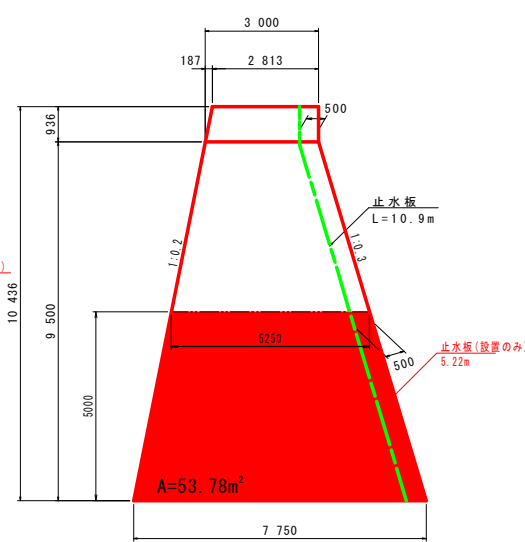
断面図

① - ① 断面



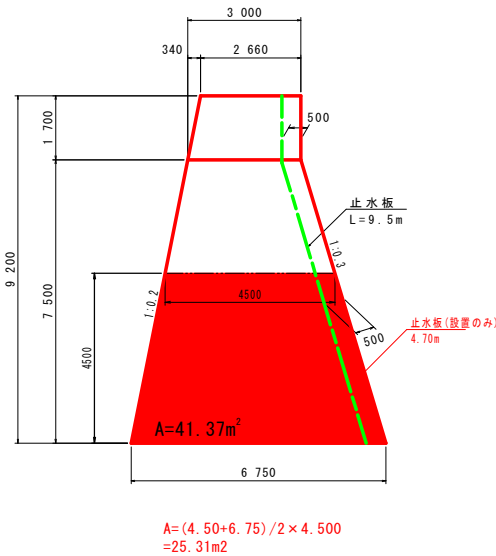
止水板 (材料費) L=6.9m + 10.9m + 9.5m = 27.3m
止水板 (設置費) L=2.6m + 5.2m + 4.7m = 12.5m

② - ② 断面



A= (5.25+7.750) / 2 * 5.000
=32.50m2

③ - ③ 断面



A= (4.50+6.75) / 2 * 4.500
=25.31m2

堤体施工に関する留意事項

- 1 リフト高
 - 1) 1 リフトの打設高さは0.75～2.0m を標準とする。
 - 2) 岩盤上及びやむを得ず長い日数にわたって打止めておいたコンクリートに打継ぐときは0.75～1.0m のリフトで数リフト打つのがよい。
 - 3) 旧コンクリートの材令が0.75m 以上1.0m 未満のリフトの場合は3日(中2日)、1.0m 以上1.5m 未満のリフトの場合は4日(中4日)1.5m以上2.0m以下のリフトの場合は5日(中4日)に達した後に新コンクリートを打継がなければならない。
 - 4) 隣接ブロックの打設高低差は、上下流方向で4リフト、横方向8リフト以下とする。
- 2 打設計画
 - 1) 施工に先立ち全体の打設計画を立て、日々打設のブロック割を決定し、打設する。
 - 2) ブロック打設の場合は硬化熱の発散を考慮し、隣接ブロックの打込み順序を決める。
 - 3) コンクリート打込み前にあらかじめ基礎岩盤面の浮石、堆積物、油及び岩片等を除去した上で、圧力水等により清掃し、溜水、砂等を除去しなければならない。
 - 4) コンクリートを打込む基礎岩盤及び水平打継目のコンクリートについては、あらかじめ吸水させ、湿潤状態にした上で、モルタルを塗り込むように敷均さなければならない。
 - 5) モルタルの配合は本体コンクリートの品質を損なうものであってはならない。また、敷き込むモルタルの厚さは平均厚で、岩盤では2cm 程度、水平打継目では1.5cm程度とするものとする。
 - 6) 水平打継目の処理については、圧力水等により、レイタンス、雑物を取り除くとともに清掃しなければならない。
 - 7) 1 リフトを数層に分けて打込むときには、締固めた後の1 層の厚さが、40～50cm 以下を標準となるように打込まなければならない。
 - 8) コンクリートの養生を散水等により行わなければならない。コンクリートの養生方法は、外気温、配合、構造物の大きさを考慮して適切に行わなければならない。
 - 9) 水通し部は、なるべく計画洪水量を流過させる断面を確保できる打設計画とする。
 - 10) 水通し部と前底部の打設計画は、水叩工を施工する前に水通し部の打設高を高くしてはならない。また側壁を打設完了した場合、本堤水通し幅は側壁幅以下とする。
 - 11) 前底部側壁の打継は水叩上面と同一高さで打継いではならない。
 - 12) コンクリートの打込みはコンクリートバケットの使用を標準とし、コンクリート打込み用バケットを、その下端が打込み面上1m 以下に達するまで降ろし、打込み箇所のできるだけ近くに、コンクリートを排出しなければならない。
- 3 新旧年度の打継
 - 1) 新旧年度打継の水平面は硬化遅延剤、垂直面はチャッピング処理を講じる。チャッピングの厚さは0.5～1.0cm 程度とする。
 - 2) 硬化遅延剤の施工方法はコンクリート打設後、フリージング水を除去してから液体を散布し、約8～24 時間後(一般に12～14 時間)、水を噴きかけながら硬いブラシでこすり、凝結遅延しているモルタル部分を完全に洗い出し骨材を露出させる。

※ 徳島県 砂防技術指針(案) 平成29年4月 P.VIII-13

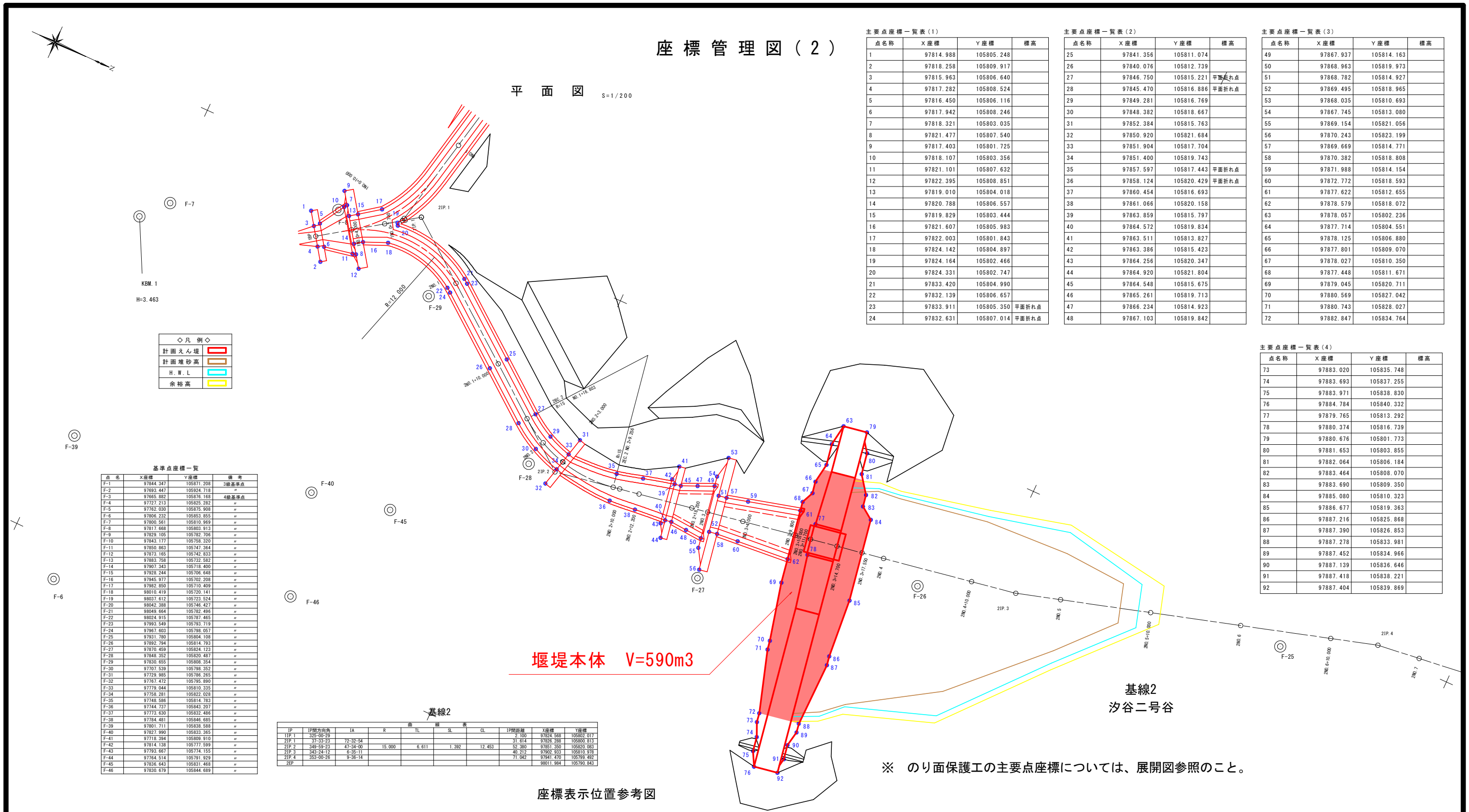
当初設計図面

【汐谷二号谷】

工 事 名	R8阿土 汐谷 阿南・橋 砂防工事 (企育)		
路線名等	汐 谷		
工事箇所	阿南市橋町汐谷山		
図 面 名	コンクリート打設参考図		
縮 尺	S=1:100	図面番号	9 / 10
会 社 名			
事業者名	徳島県阿南県土整務所		

座 標 管 理 図 (2)

平 面 図 S=1/200



◇ 凡 例 ◇	
計画えん堤	
計画堆砂高	
H. W. L	
余裕高	

基準点座標一覧

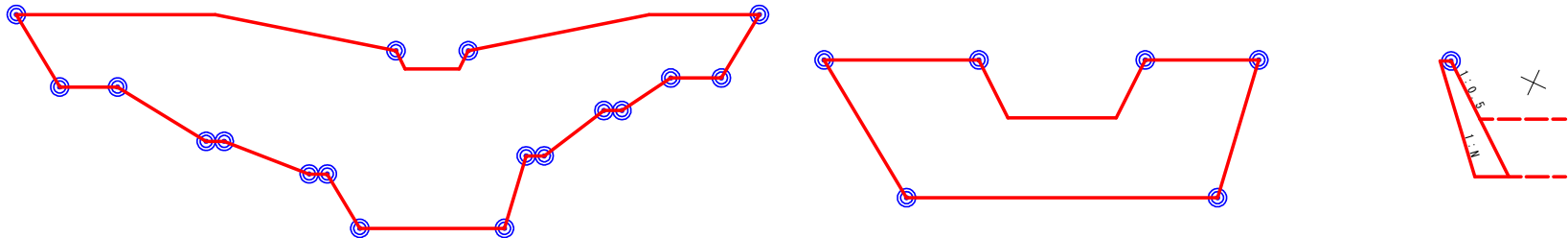
点 名	X座標	Y座標	備 考
F-1	97844.347	105871.208	3級基準点
F-2	97893.447	105924.718	"
F-3	97865.882	105876.168	4級基準点
F-4	97727.213	105825.282	"
F-5	97782.030	105875.908	"
F-6	97806.232	105853.855	"
F-7	97800.561	105810.969	"
F-8	97817.668	105803.913	"
F-9	97829.105	105782.706	"
F-10	97843.177	105756.320	"
F-11	97850.863	105747.364	"
F-12	97873.165	105742.833	"
F-13	97883.758	105732.582	"
F-14	97807.343	105718.400	"
F-15	97828.244	105706.648	"
F-16	97845.977	105702.208	"
F-17	97882.850	105710.409	"
F-18	98010.419	105720.141	"
F-19	98037.612	105723.524	"
F-20	98042.388	105746.427	"
F-21	98049.664	105782.496	"
F-22	98024.915	105787.465	"
F-23	97993.549	105793.719	"
F-24	97867.603	105798.057	"
F-25	97831.780	105804.108	"
F-26	97892.794	105814.793	"
F-27	97870.459	105824.123	"
F-28	97848.352	105820.487	"
F-29	97830.655	105808.354	"
F-30	97707.539	105798.352	"
F-31	97729.985	105786.265	"
F-32	97767.472	105795.890	"
F-33	97779.044	105810.335	"
F-34	97758.281	105822.028	"
F-35	97748.586	105814.783	"
F-36	97744.737	105843.207	"
F-37	97773.630	105832.486	"
F-38	97784.481	105846.685	"
F-39	97801.711	105838.588	"
F-40	97827.990	105833.365	"
F-41	97718.394	105809.910	"
F-42	97814.138	105777.599	"
F-43	97793.667	105774.155	"
F-44	97764.514	105791.929	"
F-45	97836.843	105831.468	"
F-46	97830.679	105844.689	"

本堤

垂直壁

護岸工

座標表示位置



点名称	X座標	Y座標	標高
1	97814.988	105805.248	
2	97818.258	105809.917	
3	97815.963	105806.640	
4	97817.282	105808.524	
5	97816.450	105806.116	
6	97817.942	105808.246	
7	97818.321	105803.035	
8	97821.477	105807.540	
9	97817.403	105801.725	
10	97818.107	105803.356	
11	97821.101	105807.632	
12	97822.395	105808.851	
13	97819.010	105804.018	
14	97820.788	105806.557	
15	97819.829	105803.444	
16	97821.607	105805.983	
17	97822.003	105801.843	
18	97824.142	105804.897	
19	97824.164	105802.466	
20	97824.331	105802.747	
21	97833.420	105804.990	
22	97832.139	105806.657	
23	97833.911	105805.350	平面折れ点
24	97832.631	105807.014	平面折れ点

点名称	X座標	Y座標	標高
25	97841.356	105811.074	
26	97840.076	105812.739	
27	97846.750	105815.221	平面折れ点
28	97845.470	105816.886	平面折れ点
29	97849.281	105816.769	
30	97848.382	105818.667	
31	97852.384	105815.763	
32	97850.920	105821.684	
33	97851.904	105817.704	
34	97851.400	105819.743	
35	97857.597	105817.443	平面折れ点
36	97858.124	105820.429	平面折れ点
37	97860.454	105816.693	
38	97861.066	105820.158	
39	97863.859	105815.797	
40	97864.572	105819.834	
41	97863.511	105813.827	
42	97863.386	105815.423	
43	97864.256	105820.347	
44	97864.920	105821.804	
45	97864.548	105815.675	
46	97865.261	105819.713	
47	97866.234	105814.923	
48	97867.103	105819.842	

点名称	X座標	Y座標	標高
49	97867.937	105814.163	
50	97868.963	105819.973	
51	97868.782	105814.927	
52	97869.495	105818.965	
53	97868.035	105810.693	
54	97867.745	105813.080	
55	97869.154	105821.056	
56	97870.243	105823.199	
57	97869.669	105814.771	
58	97870.382	105818.808	
59	97871.988	105814.154	
60	97872.772	105818.593	
61	97877.622	105812.655	
62	97878.579	105818.072	
63	97878.057	105802.236	
64	97877.714	105804.551	
65	97878.125	105806.880	
66	97877.801	105809.070	
67	97878.027	105810.350	
68	97877.448	105811.671	
69	97879.045	105820.711	
70	97880.569	105827.042	
71	97880.743	105828.027	
72	97882.847	105834.764	

主要点座標一覧表(4)

点名称	X座標	Y座標	標高
73	97883.020	105835.748	
74	97883.693	105837.255	
75	97883.971	105838.830	
76	97884.784	105840.332	
77	97879.765	105813.292	
78	97880.374	105816.739	
79	97880.676	105801.773	
80	97881.653	105803.855	
81	97882.064	105806.184	
82	97883.464	105808.070	
83	97883.690	105809.350	
84	97885.080	105810.323	
85	97886.677	105819.363	
86	97887.216	105825.868	
87	97887.390	105826.853	
88	97887.278	105833.981	
89	97887.452	105834.966	
90	97887.139	105836.646	
91	97887.418	105838.221	
92	97887.404	105839.869	

※ のり面保護工の主要点座標については、展開図参照のこと。

当初設計図面 【汐谷二号谷】

工 事 名	R8阿土 汐谷 阿南・橋 砂防工事(企青)		
路線名等	汐 谷		
工事箇所	阿南市橋町汐谷山		
図 面 名	座 標 管 理 図		
縮 尺	図 示	図面番号	10 / 10
会 社 名			
事業者名	徳島県阿南県土整事務所		